

第3章 意見収集

本計画を策定するにあたり、地域住民とスポーツ施設利用団体の方々にアンケート調査を実施しました。

【調査概要】

調査期間：令和6年10月4日(金)～令和6年10月31日(木)

調査対象者：地域住民、スポーツ施設利用団体

調査方法：WEB方式

設問数：地域住民 全14問、スポーツ施設利用団体 全16問

【集計結果】

回答数：地域住民 391、スポーツ施設利用団体 12

第1節 地域住民からの意見・要望

地域住民の方々のアンケート集計結果について、整備方針に大きく関連する結果を以下に整理します。(アンケート結果詳細は「影森グラウンド基本計画策定における公園・スポーツ施設に関するアンケート 調査結果」参照)

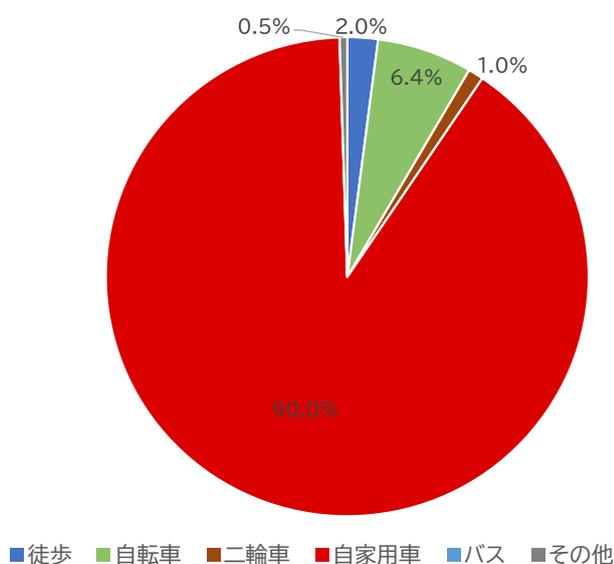
(1) 影森グラウンドへの交通手段について

約90%の回答者が影森グラウンドへの交通手段として自家用車を選択しています。自家用車は他の交通手段と比較して利用率が高く、これらを踏まえた駐車台数を確保した駐車場を整備する必要があります。

問 あなたのご自身の自宅から対象地への主な交通手段について、あてはまるもの1つを選択してください。

選択肢	回答数	割合
徒歩	8	2.0%
自転車	25	6.4%
二輪車	4	1.0%
自家用車	352	90.0%
バス	0	0.0%
その他	2	0.5%
合計	391	100.0%

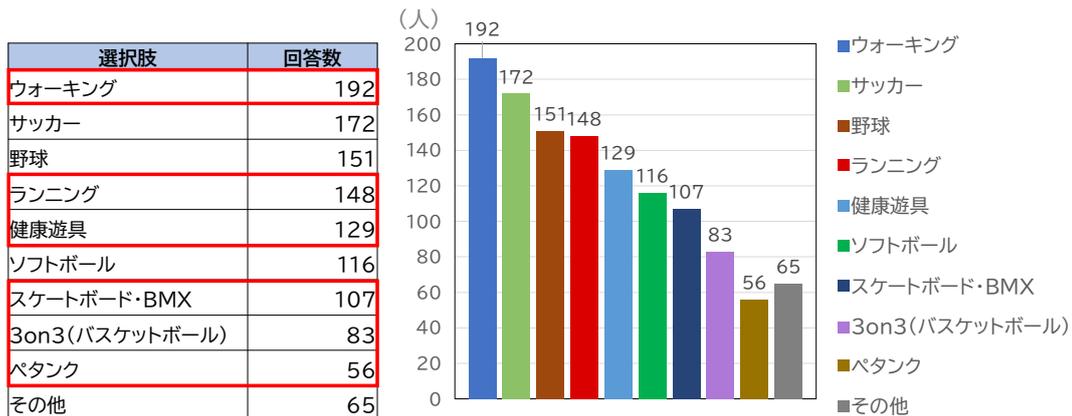
その他の主な回答
原付、タクシー



(2) 影森グラウンドで実施したいスポーツについて

現在影森グラウンドで実施可能なサッカー、野球、ソフトボールに加え、ウォーキング・ランニング、ニュースポーツ（スケートボード・BMX、3on3、ペタンク）、健康遊具を利用したいという要望が多く、新たなスポーツニーズに対応した空間を整備する必要があります。

問 あなたは、影森グラウンドで、今後どのようなスポーツができるとよいと思いますか？あてはまるものすべてを選択してください。



その他の主な回答

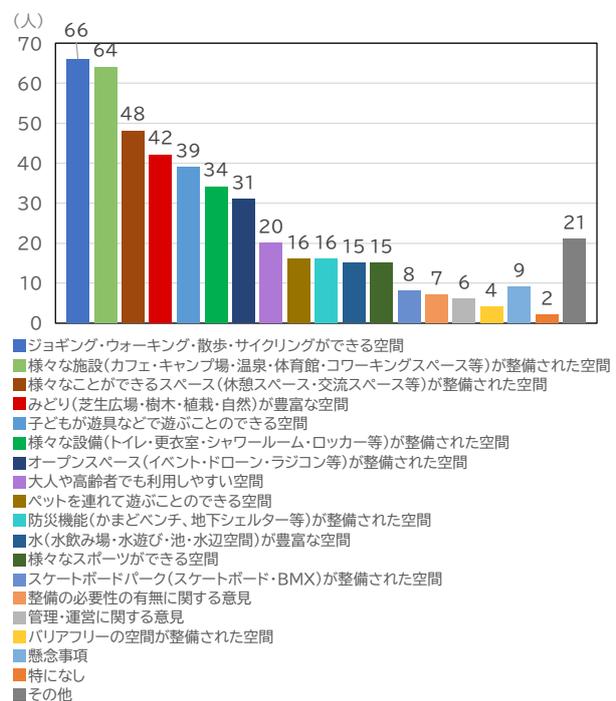
テニス(9)、ゴルフ(9)、フットベースボール(5)、アスレチック遊具(5)、フットサル(3)、ボルダリング・クライミング(2)、陸上競技(2)、ヨガ(2)、ドローン(2)、サイクリング(2)、アーチェリー(1)、バレーボール(1)、バドミントン(1)、スケート(1)、ホッケー(1)、ラグビー(1)、卓球(1)

(3) 影森グラウンドでスポーツ以外に整備してほしい空間について

みどり、遊具、ジョギング、イベント・休憩・カフェスペース、トイレ・シャワールーム・更衣室等の整備の要望が多く、地域住民の憩い・交流の場やスポーツ施設利用者の利便性向上のための施設を整備する必要があります。

問 スポーツ以外の活動をするためにそれぞれどのような施設や空間があるとよいですか？ご意見、アイデアがあればお聞かせください。（自由回答）
 （例. 休憩や交流ができるカフェ、ジョギングができるコース、大人も子どもも自由に過ごせる芝生の広場、様々なイベントができるオープンスペース、健康遊具が欲しいなど）

選択肢	回答数
ジョギング・ウォーキング・散歩・サイクリングができる空間	66
様々な施設(カフェ・キャンプ場・温泉・体育館・コワーキングスペース等)が整備された空間	64
様々なことができるスペース(休憩スペース・交流スペース等)が整備された空間	48
みどり(芝生広場・樹木・植栽・自然)が豊富な空間	42
子どもが遊具などで遊ぶことのできる空間	39
様々な設備(トイレ・更衣室・シャワールーム・ロッカー等)が整備された空間	34
オープンスペース(イベント・ドローン・ラジコン等)が整備された空間	31
大人や高齢者でも利用しやすい空間	20
ペットを連れて遊ぶことのできる空間	16
防災機能(かまどベンチ、地下シェルター等)が整備された空間	16
水(水飲み場・水遊び・池・水辺空間)が豊富な空間	15
様々なスポーツができる空間	15
スケートボードパーク(スケートボード・BMX)が整備された空間	8
整備の必要性の有無に関する意見	7
管理・運営に関する意見	6
バリアフリーの空間が整備された空間	4
懸念事項	9
特になし	2
その他	21



第2節 スポーツ施設利用団体からの意見・要望

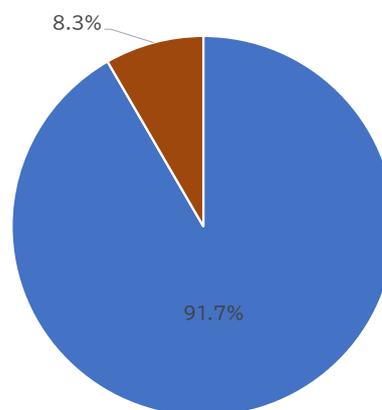
スポーツ施設利用団体の方々のアンケート集計結果について、抜粋を以下に整理します。

(1) 影森グラウンド整備後の練習・教室、大会の利用頻度について

以下回答より、影森グラウンドの再整備後も計画地を利用したい団体が多く、練習・教室、大会ともに年に数回利用したい団体が多いことがわかります。

問 新しく影森グラウンドが整備された場合、練習・教室を影森グラウンドで実施したいですか？

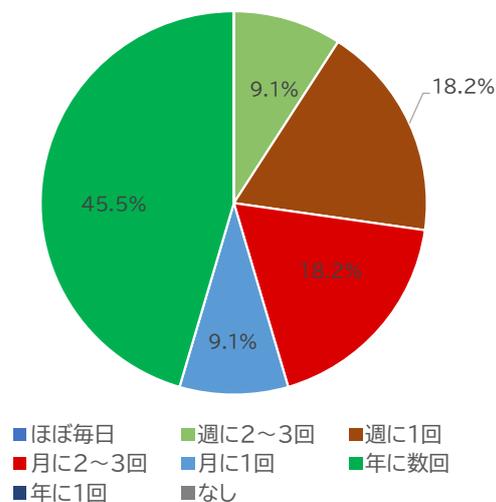
選択肢	回答数	割合
はい	11	91.7%
いいえ	0	0.0%
未定	1	8.3%
合計	12	100.0%



■はい ■いいえ ■未定

問 影森グラウンドの整備後に練習・教室を実施したいと回答した方にうかがいます。練習・教室を影森グラウンドの整備後にどのくらい実施したいですか？あてはまるものを1つ選択してください。

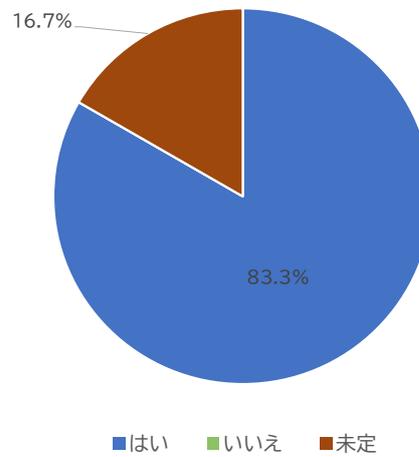
選択肢	回答数	割合
ほぼ毎日	0	0.0%
週に2~3回	1	9.1%
週に1回	2	18.2%
月に2~3回	2	18.2%
月に1回	1	9.1%
年に数回	5	45.5%
年に1回	0	0.0%
なし	0	0.0%
合計	11	100.0%



■ほぼ毎日 ■週に2~3回 ■週に1回
■月に2~3回 ■月に1回 ■年に数回
■年に1回 ■なし

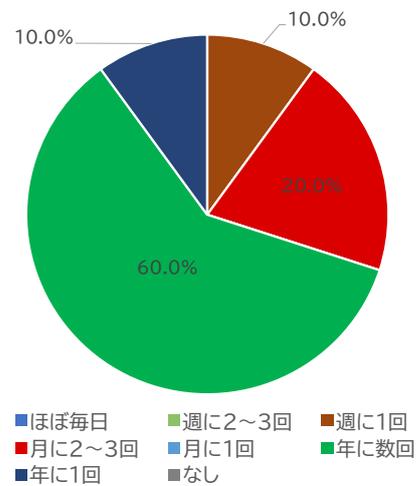
問 新しく影森グラウンドが整備された場合、大会を影森グラウンドで実施したいですか？

選択肢	回答数	割合
はい	10	83.3%
いいえ	0	0.0%
未定	2	16.7%
合計	12	100.0%



問 影森グラウンドの整備後に大会を実施したいと回答した方にうかがいます。大会を影森グラウンドの整備後にどのくらい実施したいですか？あてはまるものを1つ選択してください。

選択肢	回答数	割合
ほぼ毎日	0	0.0%
週に2~3回	0	0.0%
週に1回	1	10.0%
月に2~3回	2	20.0%
月に1回	0	0.0%
年に数回	6	60.0%
年に1回	1	10.0%
なし	0	0.0%
合計	10	100.0%



第4章 基本方針

第1節 影森グラウンドの基本方針

影森グラウンドは、現状様々なスポーツを楽しむことのできる広大なグラウンドを有し、計画地西側には荒川、東側には秩父市のシンボルである武甲山が位置し、計画地内の桜並木を含む様々な植栽とともに、スポーツと豊かな緑が織り成す景観を楽しむことができます。再整備においては、今あるスポーツ機能のさらなる向上を前提としたうえで、より多世代かつ多様な人々が快適に利用できるスポーツ施設を目指します。

【整備コンセプト】

地域に根付いた活気あふれる“コミュニティスポーツグラウンド”

【基本方針】

● 既存スポーツ施設利用者の利便性向上

- ・ サッカー・野球・ソフトボールを中心に現在の影森グラウンドを利用している方々の利便性向上を目指します。
- ・ 多目的グラウンド ABCD の拡張やシャワールームの整備など現状の不満点を解消する計画とします。
- ・ 誰もが安全に利用できるようなバリアフリーな空間を形成します。

● 憩い・交流の場の創出

- ・ 少年スポーツチームの保護者や観客も不便のない休憩機能を確保します。
- ・ 子どもから大人まで安全かつ自由に遊ぶことのできる場を確保します。
- ・ 地域のイベント等にも活用可能な空間整備を行います。
- ・ 豊かな自然環境を保全するとともに、地域の憩いの場となる広場空間を創出します。
- ・ 立地特性に配慮し、余裕をもって利用できる駐車台数を複数箇所確保します。

● 新たなスポーツニーズへの対応

- ・ 日常的な運動ができる空間を確保し、地域住民の健康増進に寄与します。
- ・ 東京オリンピック・パラリンピック等を契機に近年ニーズが高まっているニュースポーツを楽しめる場所を確保することを検討します。

第2節 導入施設の検討

地域住民・スポーツ施設利用団体からのご意見を踏まえ、導入施設は以下を想定します。

表 4-1 導入施設一覧表

分類	整備方針	施設名	
既存スポーツ施設利用者の 利便性向上	既存改修	多目的グラウンド(人工芝)(観客席)	
		サッカー場(天然芝)	
		多目的グラウンド ABCD	
		クラブハウス	
	新設	ウォーミングアップ広場	
		トイレ(多目的グラウンド(人工芝)付近)	
憩い・交流の場の創出	既存改修	駐車場	
	新設	地域の憩いの 空間	遊具広場
			休憩施設
			広場
新たなスポーツニーズへの 対応	新設	ウォーキング・ランニングコース	
		健康遊具	
	他施設と兼用	スケートパーク・BMX	
		3on3 コート	
		ペタンクコート	

(1) 多目的グラウンド（人工芝）

令和6年5月に整備した多目的グラウンド（人工芝）は、より利用者の利便性を向上するべく、多目的グラウンド（人工芝）の南側の法面に観客席を整備します。また、現状夜間に子どもが多目的グラウンド（人工芝）を利用した際に自動車でトイレに向かうといった意見があることを踏まえ、多目的グラウンド（人工芝）付近に新たにトイレを設置します。



図 4-1 多目的グラウンド（人工芝）

(2) サッカー場（天然芝）

サッカー場（天然芝）は現状の良質な天然芝サーフェスは維持したまま、利用者の利便性向上を図ります。

(3) 多目的グラウンド ABCD

多目的グラウンド ABCD は、現状「外野スペースが狭い」「ホームベースからバックネットまでの距離が統一されていない」「ベンチの有無」等、コートによって規格に差があることから、現状より面積を広げ、ゆとりを確保します。

(4) クラブハウス

現在の管理棟及びトイレは老朽化が著しいことからクラブハウスとして一体的に全面改修とします。また、要望の多い更衣室・シャワールームを新たに設けます。

(5) 倉庫

スポーツ施設利用者の利便性を高めるため、多目的グラウンド（人工芝）、多目的グラウンド ABCD、サッカー場（天然芝）に併設する形で倉庫の設置を検討します。

(6) ウォーミングアップ広場

現状、大会時にウォーミングアップ等を行うスペースがないことから、天然芝・クレーそれぞれのウォーミングアップ広場を整備します。

大会利用時以外は予約していない方もボール遊び等で利用できる空間とするほか、ペタンク等のスポーツにおいても利用可能な空間として整備します。



出典：一般社団法人 千葉県まちづくり公社 HP

図 4-2 ウォーミングアップ広場イメージ

(7) 駐車場

駐車場は、計画地への来訪者の多くが自家用車を利用することから、十分なスペースを確保するとともに、複数箇所に設けることで広大な敷地内において、歩行距離を短くできるよう配慮します。

また、大会時等の団体利用や少年スポーツチームでの練習時における保護者による送迎等を想定し、大型バスや乗用車の車寄せスペースとロータリーの確保を検討します。

(8) 地域の憩いの空間

1) 遊具広場

計画地の位置する影森地域には公園が少なく、地域から子どもの遊べる空間が欲しいとの要望が多いことから、遊具等を設置した子どもの遊べる空間を整備します。



出典：株式会社 コトブキ HP

図 4-3 遊具広場イメージ

2) 休憩施設

少年スポーツチームの保護者や地域の方などが、日陰で休憩できるよう、四阿やベンチなどの休憩施設を計画地内に適宜配置します。

3) 広場

地域からの要望でのんびり休憩がしたい、行事やイベントに使いたいなどの回答が多いことを踏まえ、イベント時にも活用可能な広場を計画地に複数箇所整備します。



出典：鴻巣市 HP

図 4-4 広場イメージ

(9) 新たなスポーツニーズへの対応

現状のサッカー・野球・ソフトボールに加え、地域からの要望が多かった施設について、空間整備を検討します。

1) ウォーキング・ランニング

ウォーキング・ランニングに利用可能なスペースを園路に沿って設けます。設置に当たっては、利用者との交錯が少なくなるよう、ランニングコースとわかりやすい舗装とするなど、安全に配慮した計画とします。



出典：埼玉県 HP

図 4-5 ウォーキング・ランニングコースイメージ

2) 健康遊具

地域住民が健康の維持増進を目的に日常的に運動できるよう、健康遊具の設置を検討します。



出典：株式会社 コトブキ HP

図 4-6 健康遊具イメージ

3) ニュースポーツ

ニュースポーツは、東京オリンピックを契機に全国的にニーズが高まっています。計画地では、アンケートにおいても要望が多かったスケートパーク・BMX、3on3、ペタンク等のニュースポーツについて、大会・イベント時以外、余剰空間が発生すると考えられる駐車場やウォーミングアップ広場の一部を併用することで、日常的に余白の少ない空間を目指します。

なお、ニュースポーツ施設の具体的な整備方針については、今後継続検討します。



図 4-7 ニュースポーツ広場イメージ

第3節 ゾーニング・動線計画

既存の多目的グラウンド(人工芝)・サッカー場(天然芝)・多目的グラウンド ABCD については、既存施設を活かすため、現状のゾーニングを基本とし、新たにウォーミングアップ広場を併設することで、スポーツ施設としての機能及び利便性を向上させます。また、スポーツを行わない利用者や地域住民の方が利用可能な憩い・交流広場を新たに設けます。

駐車場については、各グラウンドへの移動を考慮した位置に設け、利用者の利便性向上を図ります。また、計画地内には周回可能な園路を設けます。

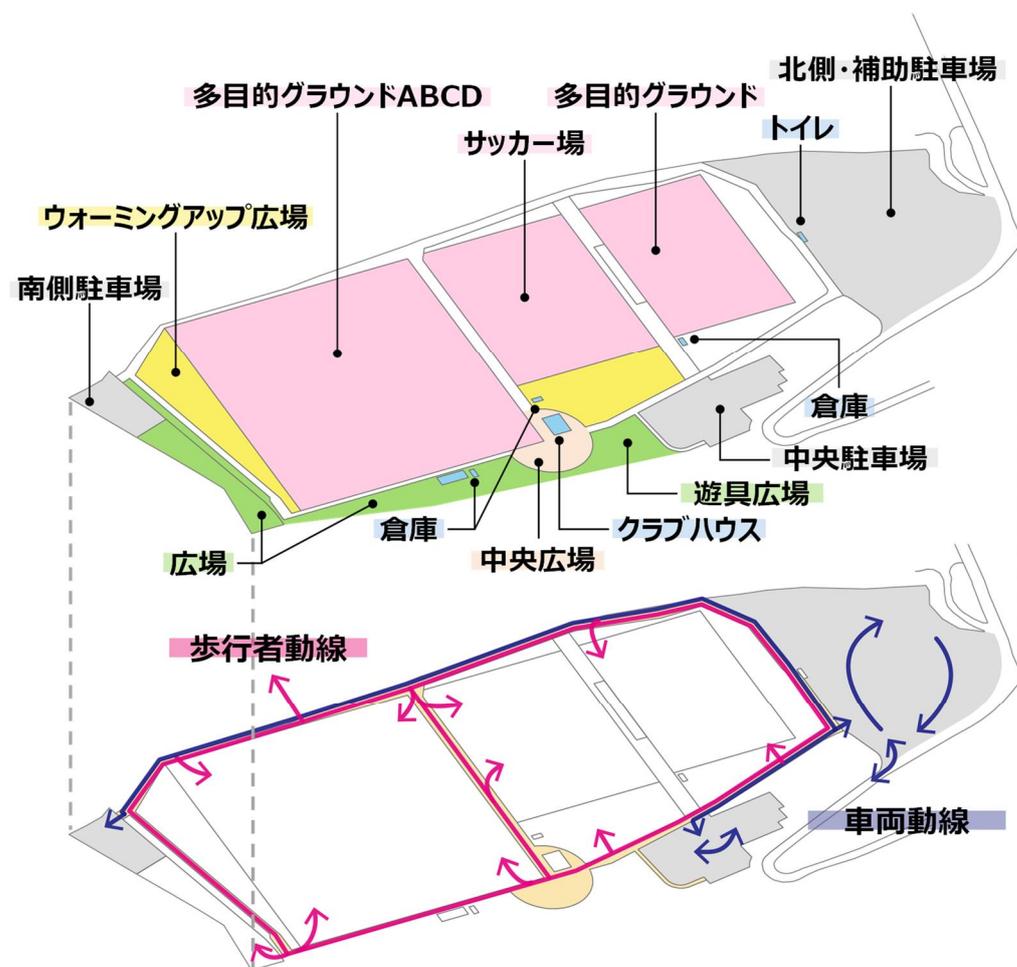


図 4-8 ゾーニング・動線計画図